

# 拉致問題関連年表(昭和39(1964)年～平成20(2008)年)



和暦(西暦)	横田めぐみさん関係等	拉致被害者関係	川崎市関係
S39(1964)年	10月5日 横田めぐみさん、名古屋市で誕生		
S41(1966)年	東京都品川区に転居		
S43(1968)年	8月23日 双子の弟が誕生		
S47(1972)年	広島市に転居		
S51(1976)年	新潟市に転居		
S52(1977)年	4月 めぐみさん、新潟市立寄居中学校入学 バドミントン部に所属		
	11月15日 部活帰りの下校途中に何者かに 連れ去られる(当時13歳)		
	11月22日 新潟県警公開捜査		
S55(1980)年		1月7日 『サンケイ新聞』「アベック3組ナゾの蒸発」報道	
H7(1995)年		5月 朝日放送「闇の波濤から～北朝鮮発・対南工作」放映	
H8(1996)年		10月 石高健次氏「私が『金正日の拉致指令』を書いた理由」発表	
H9(1997)年	1月21日 横田夫妻に参議員議員秘書・兵本達吉氏 から北朝鮮拉致情報	3月25日 「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」結成 横田滋さん、代表に就任	
	2月3日 「めぐみさん拉致疑惑」報道	5月1日 警察庁が拉致疑惑を7件、10名と認定	
	2月4日 安明進氏(元北朝鮮工作員)がめぐみさん目撃証言		
	2月7日 横田夫妻、衆議院議員会館で初の記者会見		
	5月5日 横田夫妻、初の街頭署名活動		
H10(1998)年	3月15日 横田夫妻、川崎駅前で署名活動		
H11(1999)年	早紀江さん、「めぐみ、お母さんがきっと助けてあげる」出版		
H12(2000)年			4月 川崎市長名で日本赤十字社神奈川支部を通じて本社宛てに 横田めぐみさんの一刻も早い安否確認について依頼
H14(2002)年	9月30日 めぐみさんの娘キム・ウンギョンさんが 日本政府調査団と面会	9月17日 小泉総理が訪朝し、第1回日朝首脳会談 金正日国防委員長が拉致を認め、謝罪	12月16日 ブルーリボン運動に協力
		10月15日 拉致被害者5名帰国	
H15(2003)年	3月3日 横田夫妻、訪米	1月1日 「北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援 に関する法律」施行	1月1日 川崎市拉致被害者家族支援連絡会議設置
	4月22日 早紀江さん、スイスの国連人権委員会で意見陳述		
	5月11日 あさがおの会設立		
	11月25日 早紀江さん、「ブルーリボンの祈り」出版		
H16(2004)年	11月9日 北朝鮮が「めぐみさんの遺骨」提出	5月22日 小泉総理が訪朝し、第2回日朝首脳会談 行方不明者の再調査に合意。拉致被害者の家族5名帰国	6月22日 「政府認定拉致被害者等の早期帰国に関する国への要望」 (首相官邸、外務省等)
	12月8日 DNA鑑定で「遺骨」が別人のものと判明	7月18日 拉致被害者の家族3名帰国	
H17(2005)年		6月10日 横田夫妻、参議院特別委員会で意見陳述	1月 拉致被害者家族支援懸垂幕作製(以後随時掲出)
H18(2006)年	4月11日 めぐみさんの夫が金英男氏(韓国人拉致被害者)と判明	4月28日 拉致被害者家族とブッシュ米国大統領との面談(ワシントン)	4月4日 横田滋写真展開催(あさがおの会主催)
	5月16日 滋さん訪韓、金英男氏の家族と面会	6月23日 「拉致問題その他北朝鮮当局による 人権侵害問題への対処に関する法律」施行	5月18日 アナン国連事務総長宛ての市長親書手交
	11月25日 映画「めぐみ」一般公開	9月29日 政府拉致問題対策本部設置	8月25日 姉妹都市・友好都市市長宛てに横田夫妻の手紙と 市長親書を手交
		11月20日 政府が拉致被害者を12件17名と認定	
H19(2007)年	12月20日 早紀江さん、「めぐみへ 横田早紀江、母の言葉」出版	11月24日 横田滋さん、「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」代表を退任 飯塚繁雄さんが代表に就任	10月11日 川崎市主催「横田滋写真展」開催(以後随時開催)
H20(2008)年	1月30日 滋さん・早紀江さん、「めぐみ手帳」出版		

参考文献:横田早紀江「めぐみ、お母さんがきっと助けてあげる」草思社、(1999年出版)  
政府拉致問題対策本部「北朝鮮による日本人拉致問題」

# 拉致問題関連年表(平成 21(2009)年～令和 7(2025)年)

和暦(西暦)	横田めぐみさん関係等	拉致被害者関係	川崎市関係
H21(2009)年			3月15日 「拉致被害者家族を支援するかわさき市民のつどい」初開催(以後毎年開催) 10月4日 川崎市平和館に横田めぐみさんコーナー開設
H23(2011)年		12月17日 金正日国防委員長死去	6月12日 全国統一署名活動を市内4か所で実施(あさがおの会主催、川崎市共催) 10月5日 「拉致問題を考える国民大集会in神奈川」開催 会場：エポックなかはら 主催：政府拉致問題対策本部、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市
H24(2012)年	4月20日 滋さん・早紀江さん、「めぐみへの遺言」出版 8月30日 早紀江さん、「めぐみと私の35年」出版	7月17日 金正恩国防委員会第一委員長に元帥の称号を授与	9月17日～12月16日 ALL神奈川署名活動を実施(あさがおの会主催、神奈川県、県内3政令指定都市共催)
H26(2014)年	3月 横田夫妻とキム・ウンギョンさん(めぐみさんの娘)との面会(ウランバートル) 10月 横田夫妻、年内中の活動休止を発表 早紀江さん、「愛はあきらめない」出版	3月30日 日朝政府間協議(中国・北京) 4月24日 拉致被害者家族とオバマ米国大統領との面談(東京) 5月29日 日朝政府間協議(ストックホルム)において、北朝鮮が拉致被害者及び拉致の可能性を排除できない 行方不明者を含む全ての日本人に関する包括的かつ全面的な調査の実施を約束 7月1日 日朝政府間協議(北京) 10月 政府担当者の平壤派遣	4月29日 拉致問題啓発舞台劇「めぐみへの誓い -奪還-」上演 会場：神奈川県青少年センター 主催：政府拉致問題対策本部、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市 7月10日 川崎市長、川崎市議会議長、国連人権高等弁務官事務所(ジュネーブ)を訪問し、横田夫妻の親書を手交、拉致問題の解決に向けて、国際的な協力を要請
H27(2015)年	6月11日 あさがおの会、DVD「横田滋・早紀江さんの思い」製作を発表		1月26日 あさがおの会の全面的な協力による「横田夫妻メッセージビデオ」製作・放映開始 11月24日 番組制作会社「ジンネット」の協力により、新たな「横田夫妻メッセージビデオ」製作・放映開始
H28(2016)年		2月12日 北朝鮮、特別調査委員会の解体及び拉致被害者等の調査の全面的な中止を通告 6月 金正恩国防委員会第一委員長が国務委員長に就任	11月 「横田めぐみさんをはじめとする拉致問題の解決は市民の願いです」と記載されたステッカーを市内を走行するタクシーに貼付
H29(2017)年		11月6日 拉致被害者家族とトランプ米国大統領との面談(東京) 12月21日 横田早紀江さん、衆議院特別委員会で意見陳述	
H30(2018)年		6月12日 トランプ米国大統領と金正恩北朝鮮国務委員長が会談(シンガポール)	10月5日 あさがおの会、神奈川県との連携により、川崎競輪場及び県庁エネルギーセンター棟に拉致被害者家族支援ポスター(タペストリー)を掲出
H31・R1(2019)年		2月27日・28日 トランプ米国大統領と金正恩北朝鮮国務委員長が会談(ハノイ) 5月27日 拉致被害者家族とトランプ米国大統領との面談(東京) 6月30日 トランプ米国大統領と金正恩北朝鮮国務委員長との面会(板門店)	7月28日 「拉致問題を考える国民の集いin神奈川」開催 会場：ワークピア横浜 主催：政府拉致問題対策本部、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市
R2(2020)年	6月5日 横田滋さん永眠		1月21日 拉致問題啓発舞台劇「めぐみへの誓い -奪還-」上演 会場：カルッツかわさき 主催：政府拉致問題対策本部、川崎市
R3(2021)年		12月11日 飯塚繁雄さん、「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」代表を退任、横田拓也さんが代表に就任	
R4(2022)年		5月23日 拉致被害者家族とバイデン米国大統領との面談(東京)	4月～6月 「めぐみちゃんと家族のメッセージ」川崎市バス貸切展を開催
R5(2023)年			11月 拉致問題啓発イベント「拉致被害者家族を支援するかわさき市民のつどい」を「Kawasaki Youth Meeting」にリニューアル 横田めぐみさんの白黒写真カラー化パネル制作
R6(2024)年			
R7(2025)年		10月28日 拉致被害者家族とトランプ大統領及びルビオ国務長官との面会(東京)	